

# 椎根地区 地域づくり計画



【金刀比羅様大祭】

平成27年10月策定

## 目 次

1、椎根地区の紹介	…	1
2、地区の概況	…	2
3、自治会活動	…	3
4、公民館活動、伝統行事	…	4
5、地区の神社、神事など	…	5
6、産業・就業状況	…	6
7、地域の魅力、資源	…	7
8、私たちの椎根再生宣言 2014	…	8
9、椎根地区自治会における重点的な取組	…	9
10、実行計画及びスケジュール	…	11
11、地区内危険箇所及び防災について	…	13
12、地域資源	…	14
(1) 石屋根倉庫及び農村の景観	…	14
(2) 豊和多都美神社境内地	…	15
(3) 椎根地区集会施設・広場	…	16
(4) 石屋根倉庫、板倉倉庫の保存状況	…	17
13、アンケートの結果	…	18

## 1、椎根地区の紹介

椎根は対馬の南西部にあつて、椎根川の河口から1 kmほど上流に位置する小さな集落である。

地形は三方を山に囲まれ、北西の方向に海を望み、比較的低地でありながら山中に存在するかのような景観を呈している。

対馬島内の「根」の字がついた集落は成り立ちが古いと言われている。稲作が普及していくのは、農業用水を引き込みやすい山間の谷の小規模な水田からであり、そういう土地に人は定住をはじめるので「椎根」も稲作が始まったころから人がいた可能性がある。

集落の上流に祭られた「豊玉姫命」は海の神であるが、海からは1.5 kmも上流にあり、海がこの周辺まで入り込んでいたとすれば、椎根地区も相当の歴史を有すると考えられる。

また、この地区は、伝統的に結いの強さがあり、個人の建物でも多数の住民が手伝って完成させるなど、お互い協力しあう互助の精神に富んだ地区で、そのためか住宅や石屋根倉庫の大きさも他の地区と比べて大きいのが特徴で、観光客の入り込み数も多い。

【水彩画、昭和40年頃】



## 2、地区の概況

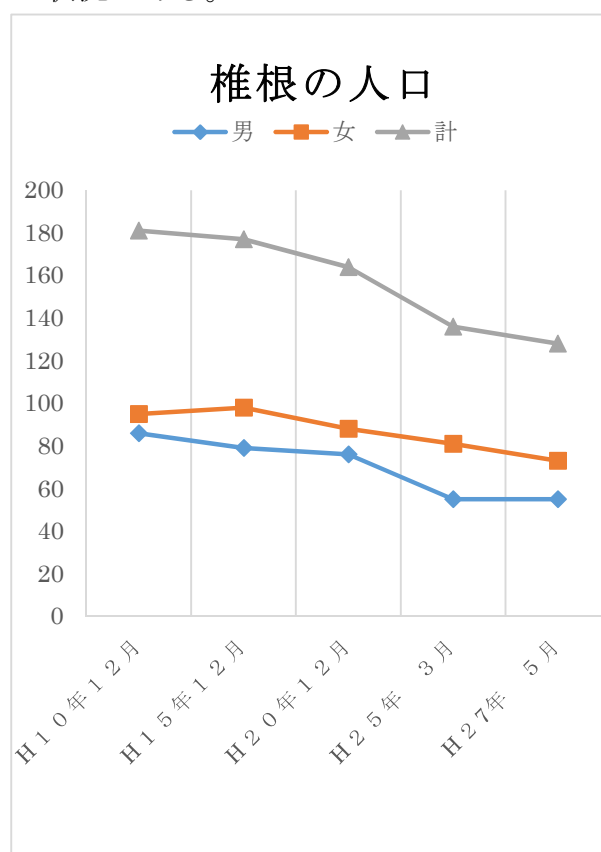
現在の世帯数は42世帯で、本戸32戸(本戸株所有農家)、非農家10戸であり、本戸数は昔から変化がなく、農本主義の昔に山の中腹まで段々畑を耕作し、狭い土地を最大限利用しても、椎根の土地が人を養えるのはこの程度の戸数だったのではないかと考えられる。

また、長男が跡継ぎとして集落に残り、他の兄弟は外に生業を求め出て行くといったことが繰り返され、就業場所の減や少子高齢化と相まって集落の人口は減少し続けている。

椎根の人口は、20年を経れば4割程度減じるのは明らかであり、長く存在したこの集落が未来も変わらず存続するかは難しい状況である。

### 人口の推移(人)

	男	女	計
H10年12月	86	95	181
H15年12月	79	98	177
H20年12月	76	88	164
H25年 3月	55	81	136
H27年 5月	55	73	128



### 高齢化率

	男	女	計
H27年5月	55	76	131
65歳以上	18	34	52
高齢化率	32.73%	44.74%	39.69%

### 若年人口 (15歳未満)

男	女	計
4	7	11

### 3、自治会活動

自治会の中心となる施設は、椎根地区集会施設で、毎月25日に税金及び水道料などの公共料金の集金、公民館の会費や檀家料の徴収、ときには農薬や種苗代を集めている。

お金を集めた後、常会で話し合いをすることが恒例であったが、近年は役員改選期と年度当初の数回の開催となり、昔に比べ半減している。

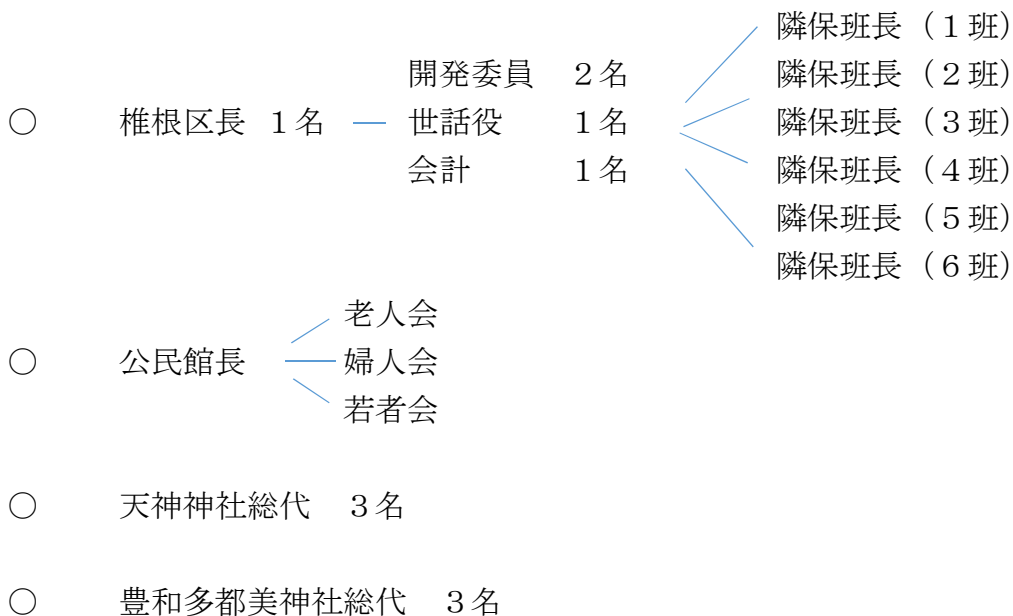
これは、地区役員の就任や、自治会員が担う労役の公平な割り振りに時間を割いていたものが、時間をかけた調整を必要とする案件が少なくなってきたからと考えられる。

椎根から選出された各団体の役員は、団体から自治会員に伝達すべき事項や協議する事項を集会に諮っている。

区長などの主要な役員は従来から、本戸後継者の年長順に就任していたが、後継者がいない家も増えおりこれが困難になったため、近年は集落内の家屋の配置順に世帯で役職をうけて、一年で交代しながらつとめている状況である。

以下は集落の役職の一部である。他の役員と重複している役職もあり農協や森林組合の総代等も含めると役職数は20を超え、就任する役員は45名に及び地区の住民の3分の1にあたる。

#### 組織図（一部抜粋）



区長は椎根地区を代表し、集会の開催、行政との折衝、市税等公金の集金・納付に責任を持つほか、公民館行事や神社のお祭り、葬儀の段取りにも携わる。

地区の男性は、30代になれば区長を経験し、その後も主要な役職に就くので自治会運営に精通し区長に協力的である。

男性は一致団結して、ものごとに当たる風があるが、短所として地縁に基づく組織のため本戸以外の者や女性が役職に就きにくく、また共有財産の管理などの役割も担っており、これが他の自治会との協働や統合が難しい原因となっている。

自治会の財源は納税組合報奨金などであるが、過去にはひじきの採取など年に数回の出役で、お寺の新築費用を捻出するなど、共同作業で事業費を賄うこともあった。

現在は、年に一回の河川の清掃や、国の交付金による農用地の管理や有害鳥獣対策を共同作業を行っている。

#### 【共同作業後の休憩】



## 4、公民館活動、伝統行事

公民館活動は、公民館長のもと運営され、各世帯から毎月会費を徴収し財源としおり年間の支出額は500千円程度である。

レクリエーション大会の参加や婦人会、老人会、青年組織の各団体に活動費を助成して毎年次の事業を行っている。

- ・佐須地区体育協会主催事業の参加
- ・墓地周辺の清掃
- ・集落景観美化のためのプランター植栽
- ・敬老会行事
- ・こども会の運営
- ・公民館清掃

- ・ 椎根地区公衆トイレ清掃

伝統行事・夏祭りイベント等は青年組織を中心に行ってきた。

過去には、夏に盆踊や芝居を行っていたが、昭和40年代に盆踊りは行われなくなり、芝居も昭和50年代頃から廃れ、現在はお盆の行事を運営できる人員が不足し夏祭りも不定期の開催となる。

なお、ここ数年は佐須地域内での人的交流・連帯を目的に結成された島おこし団体「佐須響心会」主催の花火大会に参加している。

## 5、地区の神社、神事など

椎根には拝殿を持つ神社は天神神社、豊和多都美神社の二社であるが、そのほかにも祭神が複数祭られている。

米、麦の収穫を祈る神域や、山の神、あるいは磯の安全祈願を行う場所があり、昭和61年に世話役が記載した引継事項では、1年間の神事の挙行回数は19回であった。

それ以前は、神事等の回数はさらに多かったものと思われるが、地区の総意で減っていき、椎根地区のお寺が無住寺になってからは、住職が行う神事もなくなり平成27年度は以下の神事が執り行われる。

- 旧 3月10日 金刀比羅様大祭
- 旧 6月 1日 天神神社大祭
- 旧 9月23日 天神神社御出船祭
- 旧10月25日 天神神社御入座祭
- 旧11月15日 豊和多都美神社大祭



【豊和多都美神社】

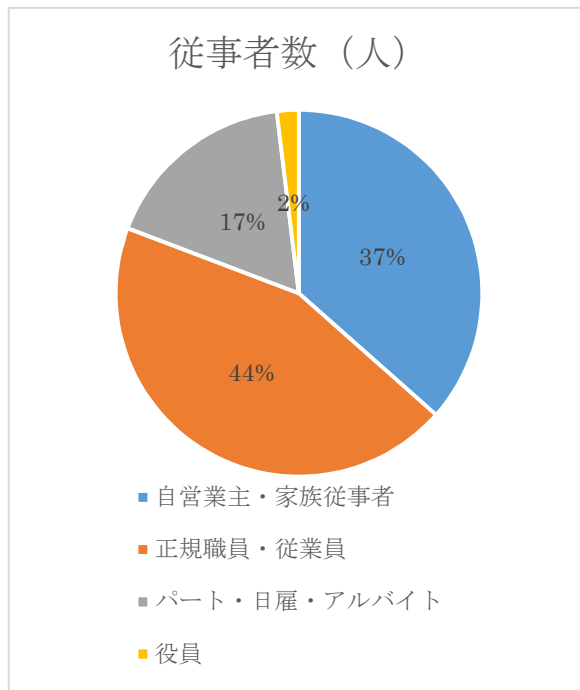


【天神神社】

## 6、産業・就業状況

椎根の人口128人中就業しているのは52名である。なお、本戸32戸は、農地や山林地主で大半が農業を営んでいるため、農業を除く就業状況について記載した。

### ●産業，従業上の地位・雇用形態



雇用形態	従事者数 (人)	割合
自営業主・家族従事者	19	36.5%
正規職員・従業員	23	44.2%
パート・日雇・アルバイト	9	17.3%
役員	1	1.9%
計	52	100.0%

### ●産業別就業者数

特徴は、農業を除く第一次産業に漁業者が多く、平均年齢は62歳と高齢化が顕著である。また、建設業に携わる人が多く、第一次産業と第二次産業従事者が過半数を超える。

就業者の半数が第三次産業従事者である。

業種名	従事者 (人)	割合
漁業	11	21.2%
林業	1	1.9%
建設業	16	30.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.9%
運輸業、郵便業	2	3.8%
卸売業、小売業	4	7.7%

業種名	従事者 (人)	割合
生活関連サービス、娯楽業	2	3.8%
医療・福祉	2	3.8%
協同組合	4	7.7%
サービス業	6	11.5%
公務	3	5.8%
計	52	100.0%



農業分野は、椎根選出の佐須土地改良区理事を中心に話し合いが持たれ、新規に立ち上げる農業生産法人に、各農家の遊休地を集約していくことに決定し、高齢化による耕作放棄地の解消や担い手の育成に、椎根、小茂田、檜根、下原地区で取り組むこととなった。

## 7、地域の魅力、資源

平成26年10月、地区住民を対象に地区の魅力、長所あるいは短所、欠点等を項目ごとにアンケートした結果34件の回答を得た。

全住民から回収を予定したが、未回答の項目も多く、大変難しいアンケートであるとの意見が多かった。回答数が少なく十分なサンプルとはいえないものの次の意見が見られた。

### ○いいところ

石屋根倉庫  
互助・人間関係  
農林漁業の充足した生活  
神社例祭や夏祭り

### ○わるいところ

石屋根倉庫は保存ができていない  
産業、雇用先がない  
神社参拝者の減、盆踊り継承なし

### ○10年後こうなってほしくない

石屋根の崩壊、撤去  
少子高齢化、人口減少、独居世帯の増  
雇用の場の減少  
神社・お寺の行事の継続困難、廃止

### ○10年後こうなってほしい

石屋根はきちんと保存されている  
若年層、子どもが増えてほしい  
農業の発展、農産品の販路拡大

椎根地区の住民は、石屋根倉庫を椎根地区の象徴として考えており、また対馬の重要な観光資源としても、将来オリジナルの景観が損なわれることを心配している。

なお、高齢者が多いのにもかかわらず、高齢者対策や、独居者の生活についてアンケートでは意見がなく、この分野について自治会で話し合う対象として認識されていない。

## 8、私たちの椎根再生宣言 2014

平成26年12月、アンケートを元に地区で話し合いを行い次の項目を決定し、地域づくり計画の骨子とした。

～ともに支え合う地区を目指して～

(1) 私たちが大切にしたいこと

暮らし 地区内の相互扶助、協力体制を維持していきます。	なりわい 農林漁業の継続のため、問題の解決に努めます。
学び・交流 公民館活動の企画、運営に積極的に参加します。	風景・環境 石屋根倉庫群と農村風景を次世代に継承します。

(2) 私たちはこれからこんな地区にしていきます！

ともに助けあい、支えあう美しいふるさと

(3) そのために地区住民が協力し合い、以下の3つの自治活動を展開します！

- 1) 話し合う機会を増やし、知恵を出し皆で解決します。
- 2) 椎根固有の景観を維持していきます。
- 3) 農林漁業継続のため、関係機関との連携強化に努めます。



## 9、椎根地区自治会における重点的な取組

平成27年月に策定した「私たちの椎根再生宣言2014」に基づき、今後の自治活動を次のとおり展開することとした。

**暮らし** 地区内の相互扶助、協力  
体制を維持していきます。

区長をはじめとする役職の種類と役員数に対し、後継者不足で従来の組織の構成では運営に無理が生じており再編を検討する。

- (1) 地区集会の維持、定期開催の継続
- (2) 区長をはじめとする地区役員の役割の見直し  
納税組合の解散の検討、自主納付（口座振込）への移行による役職の減  
自主財源の確保（課題）
- (3) 消防団員の不足を補う団員OBの活用

**なりわい** 農林漁業の継続のため、  
問題解決に努めます。

漁業従事者は多いが、小茂田港を中心とした他集落漁業者との協働が実現しており、漁業の分野について自治会内で意見がない。ただし、今後は椎根自治会活動を通じ漁業分野の交流機会を創出したい。

林業についても現在、生業とする者が少なく地区との共同に対する意見がない。

なお、佐須地区土地改良区では、組織の再編が企画され、椎根選出の役員から地区に対し要望も多く、将来地区と新組織での協働も多くなると予想される。

- (1) 有害鳥獣の対策、駆除など  
猟友会との連携、協力  
防護柵の設置、維持管理の協力  
市の被害対策サポートの受け入れ
- (2) 遊休農地の解消  
農地中間管理事業の利用拡大

- (3) 担い手の育成農業生産法人への支援、協力  
農業生産法人の収穫祭等イベントへの協力
- (4) 対馬市新規事業「佐須地区自立型モデル事業計画」への協力
- (5) ブルー・グリーンツーリズム、民泊等の研究

## 学び・交流 農林漁業の継続のため、 問題解決に努めます。

公民館の運営は、現在も過去の人口数や年齢構成による組織編成であることから、子どもの減少や高齢者の増加に対応した構成に移行していく。

公民館の教養倶楽部は、若者会のお盆行事等を運営してきたが、試みとして次の企画運営を行う。

- (1) 椎根地区公民館の教養倶楽部の再編  
未婚者を主体に組織化し、婚活事業への参加促進  
男女交流イベントの企画、実施  
民間婚活事業者への登録など研究
- (2) レクリエーションスポーツ大会の参加継続

## 風景・環境 石屋根倉庫群と農村風景を 次世代に継承します。






石屋根倉庫群から川を挟んで正面に広場が存在する。この広場は公民館前の私有地を地区で買い上げ整備したもので、昼は観光に訪れる者の駐車スペースとして利用されており、韓国人観光客も多く佐須坂トンネルの開通後はさらなる利用が見込まれる。

- (1) 石屋根倉庫群の維持保存のため、地域で景観保護の協定を締結する
- (2) 空き屋、倉庫の倒壊の未然防止を図る
- (3) 集落内の環境美化
- (4) 椎根地区公民館前広場の整地、舗装などの整備
- (5) 駐車スペースへの誘導サイン、観光案内板の更新
- (6) 豊和多都美神社 大木、境内地の遊歩道整備








## 10、実行計画及びスケジュール

椎根地区自治会の役割  で示す。  
 対馬市の役割  協働で行う期間を示す。

- 1、暮らし、相互扶助・協力体制
- (1) 地区集会の維持、定期開催の継続
  - (2) 区長をはじめとする地区役員の役割の見直し
  - (3) 消防団員の不足を補う消防団員OBの活用

取り組み年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
地区集会の維持										
役員の役割の見直し										
納税組合の解散検討										
市税等自主納付移行										
消防団員OBの活用										

- 2、なりわい、農林漁業の継続・問題解決
- (1) 有害鳥獣対策
  - (2) 遊休農地の解消
  - (3) 担い手の育成
  - (4) 対馬市新規事業「佐須地区自立型モデル事業計画」への協力（確定後）
  - (5) ブルー・グリーンツーリズム、民泊等の研究

取り組み年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
猟友会との連携、協力										
防護柵の設置、維持管理の協力										
市の被害対策サポートの受け入れ										
農地中間管理事業の利用拡大										
農業生産法人への支援、協力										
農業生産法人の収穫祭等イベントへの協力										
ブルー・グリーンツーリズム、民泊等の研究										

### 3 学び・交流

- 1、椎根地区公民館の教養倶楽部の再編
- 2、既存のスポーツイベントの参加

取り組み年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
未婚者の組織化し、婚活事業への参加促進	→									
男女交流イベントの企画、実施	→									
民間婚活事業者への登録など研究	→									
佐須地区体育協会イベントの参加	→									

### 4 風景・環境、石屋根倉庫群と農村風景を次世代に継承する。

- (1) 石屋根倉庫群の維持保存のため、地域で景観保護の協定を締結。
- (2) 空き屋、倉庫の倒壊の未然防止を図る。
- (3) 集落内の環境美化
- (4) 椎根地区公民館前広場の整地、舗装などの整備
- (5) 駐車スペースへの誘導サイン、観光案内板の更新
- (6) 豊和多津美神社 大木、境内地の遊歩道整備

取り組み年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
石屋根倉庫保護協定	→									
空屋、石屋根倉庫の現状調査、話し合い	→									
集落内環境美化	→									
公民館前広場整備案の策定	→									
誘導サイン、観光案内板の更新計画	→									
整備のための共同作業	→									
豊和多津美神社大木整備・計画	→									

## 11、地区内危険箇所及び防災について

椎根地区は鉱害被害田の復旧工事とともに河川改修が行われおり、この事業完了後に河川の氾濫は発生していない。椎根川の延長が短く、川の流域面積も小さいため水害が発生しないと考えられる。

家屋背後の急傾斜地では、崩壊防止工事が完了した箇所があり、谷筋では砂防工事や排水施設の整備も行われているが、集会では集落内の危険箇所について、下記3箇所の災害発生防止を要望されたのでこれを記載する。

防災の面では、椎根地区消防団が人口減と高齢化で定員割が常態化し、平成26年度から小茂田地区消防団と合併した。地域内で発生した初期消火には定年退職した消防団員OBを活用するなどの対策が地区集会で提案されている。

A、家屋背後の斜面崩壊防止  
工事を要望



A

B、礫類の畑、家屋敷地への流入  
防止を要望

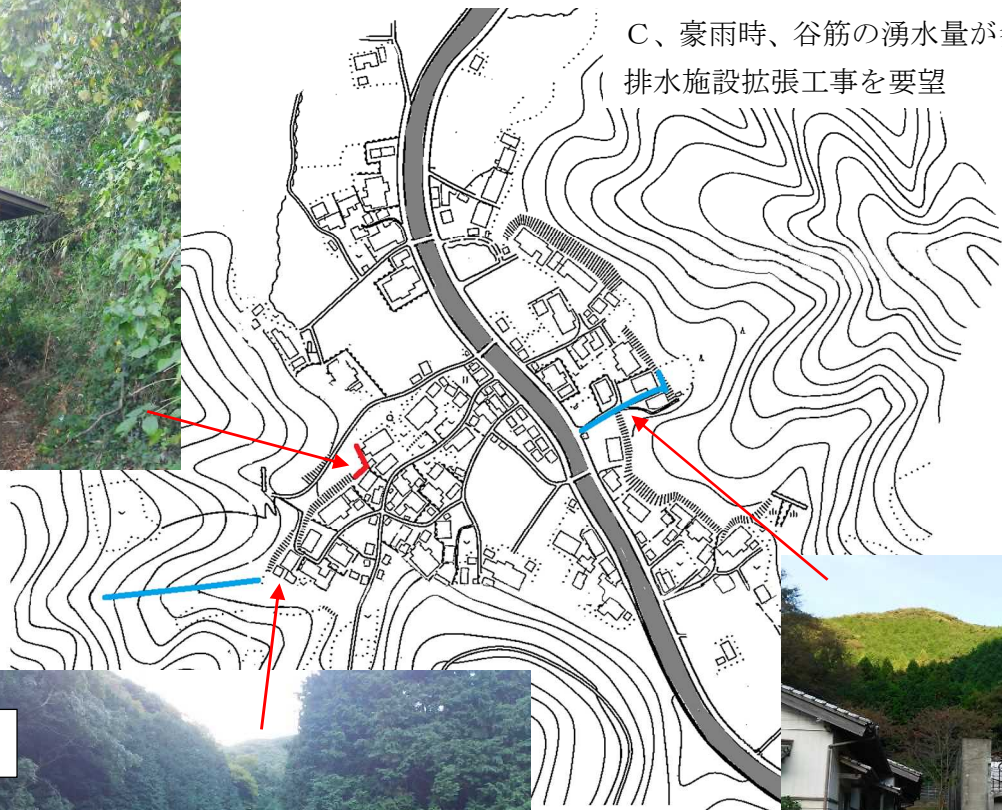


B

C、豪雨時、谷筋の湧水量が多く  
排水施設拡張工事を要望



C



## 12、地域資源

### (1) 石屋根倉庫及び農村の景観



長崎県指定有形文化財  
桐谷家石屋根倉庫

長崎県まちづくり景観資産  
籾原家石屋根倉庫



長崎県まちづくり景観資産  
長瀬家石屋根倉庫

長崎県まちづくり景観資産  
西山家石屋根倉庫



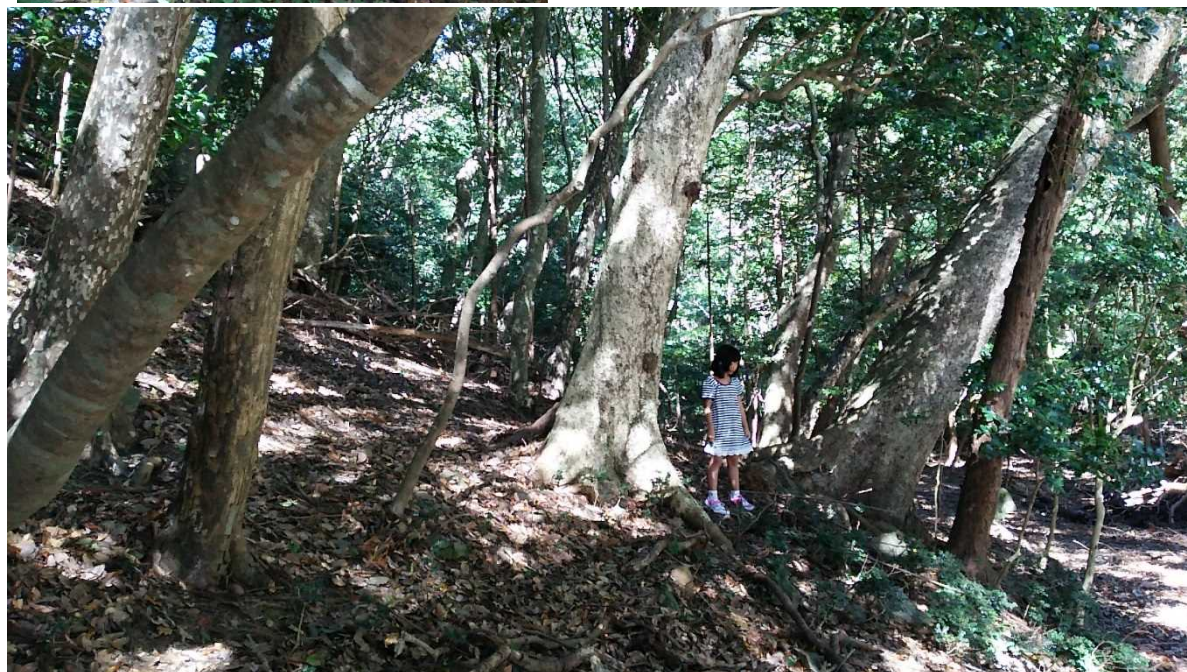


## (2) 豊和多都美神社境内地



椎根川上流の豊和多都美神社境内地は、県道から徒歩5分で行ける場所に位置し、神域として長く斧の入ったことのない山林で、小規模の原始林の様相を呈している。

広葉樹のほか杉の巨木もあり、木の空洞を樹木医に処置してもらったなど、神社氏子はこの神域を大切に扱っている。



(3) 椎根地区集会施設・広場



広場は、椎根地区集会施設前の畑を買い上げ村の共有地とした。

地区の共同作業や、夏祭りのイベント会場に利用され、観光バス、スクールバスの駐車スペースとしても利用されている。

嵩上げ、遊具の整備の要望がある。



夏祭り舞台の設置



共同作業従事者の点呼

(4) 石屋根倉庫、板倉倉庫の保存状況





## 現在のわたしの地区のよくない・改善したいと思うところ。

### 歴史・文化・伝統

石屋相親の価値観が判らず、保存、継続がうまく出来ていないかた。現存のものを大切にすべきと思う

数少ない石屋根も管理する人がいなくて、今にも壊れてしまいうつな倉庫(小屋)があるのが心配。

人口減と各人職場動で忙しい為行事が減

伝承していく物がくずれかけている

韓国人等の観光で道を防いだりゴミを捨てること

### 風景・自然環境

田畑を荒らさず、田舎の風景を残すこと大切

美しいはずの自然にゴミと、伸び放題の草がはびこり、美しくない情景を作っている

雑草(道路脇)が多い。自分の部落内(佐須地区全部)で公道のそうじをできないかと思う。

石屋相を目当てに観光客は来られているが、その観光客の目に付く川が草ぼうぼうで汚い。年一回の草刈りを4回位に

韓国人等の観光で道を防いだりゴミを捨てること

車で走っていても木は覆い被さり、空も見えない。田畑は荒れ放題

海はごみだらけ、これでは観光客にもはずかしい

### 産業(なりわい)

海を中心に生活している人たちにとって、海藻がとれず、魚が少なくて、生活に困る

産業が少なく仕事場がない為島外に出る人が多いように思います

漁協の支所があるのに朝市がない

鹿や猪の被害で、苦勞している

地域に産業(会社)がないと人口は減少し、将来的に維持できない

### お祭り・イベント

伝統・歴史の継承が出来なかつた「盆踊り」は後継若者の人数が少なくなり、廃止になったのは残念で淋しい。

地域を盛り上げようと試みてくれる若者もいるけれど、何しろ人数が少ないのでね～

夏に佐須祭りがあつたらいいと思う(盆踊りのお祭りでもいい)

神社祭り、参拝者が少なくなつて役員だけのお祭りで賑わいが無い。継承、継承は難しい。

### その他

韓国の方が観光に来られてるのがマナーが悪い。当地区にお金はおかたらない

公園によくゴミが落ちていました

悪いところは多い

田畑は荒れぼうぼうで海はごみだらけ、これでは人々も住めないし観光客にもはずかしい

車で走っていても木々が覆い被さり、空が見えない

### 安全・安心

外灯それに街灯が大変少ない

### 人・人柄・絆

高齢者が多く子供が少くない

農業くらしが厳しい

海等の資源の減少

産業がないため人口減少、企業誘致ではなく農林漁業に力を向ける

### 暮らし・社会

自分が生まれ育つた地域で生活していける様な仕事があり、楽しみがほしい

定期バスではなく予約制のタクシー乗合なので、便も少なく不便だと思います

核家族のため、余りよくない

高校までの送迎が各家庭で対応している送迎の交通手段を考えた方がよい

バスでは屋根があり修理してよいてすがドアがなく雨の日風の強い日など濡れるのでドアをつけてほしいです

### 学び・交流

レクなどを楽しんで交流を盛んにしたい

地域の人たちの趣味や特技を生かした公民館活動ができればいいのにな

公民館講座を1つでも行なってほしい

公民館の活用が足りない

学校が今のところあるがなくなるかもと聞いた

### 健康・福祉

老人世帯、独居老人が増えてきて今からどうなるかと？と

病院等遠い為特に老人がかかわりそう

# 10年後こうなってほしくない

## 人・人柄・絆

少子高齢化社会と言われることを実感してきた。若者後継者(後とり)が居ない家庭が増えて、独居老人世帯が増えてきた。空家も数軒。子供の泣き声、笑い声が聞こえない。集団で遊んでいる姿も見かけることが少なくなってきた。高齢化が更に進んで地区行事等も出来なくなると心配だ。社会現象とは言え、何とか対策は無いかと思うばかりである。

### 老人のみの地区

60歳以下の人がいない集落にはしたくないけれど

地域に適当な仕事がない為若者が残れなくなり、高齢化が進んでおり、老人集落になっていることを危惧している。

助けられる、弱者ばかりが増加。葬式の主宰者がいなくなる。

### 独居世帯の増加

教育 超高齢化のため児童数は激減し、旧町内に1小学校、1中学校 → 学校数の減少が目立つこと。

隣は何をする人ぞ・・・なんて、イヤですね

人が減り高齢者が増えること

一人暮らしの方が多くなると思います。

### 人口の減少化

限界集落になってほしくないこと。

神社やお寺の行事が維持できなくなる。

## 産業(なりわい)

農業 高齢者ばかりの農業従事者、後継者不在で、担い手となるべく農事組合法人でさえも高齢化が進む、耕作放棄地が進み、耕作放棄地が増加し、鹿害の絶好の生息地となり、頭数が激増していること。

雇用の場の減少 既存の事業所も従業員の高齢化が目立ち、事業所としての存続が困難となっていること。

漁業従事者の相当数が現役引退

高齢者、若者が働く仕事が無くなってしまおうのではないかと心配しています。

自分たちの子どもが学校を卒業しても働く場所がなく、この先不安です。対馬に働く場所をお願いたいですね

限界集落にはなってほしくないと思います。産業の活性化を図り、若者が島外に出る事なく対馬で安心して暮らせる地域にしてほしい

米や野菜を作る人が少なくなり、田畑荒地になる事

椎相地区の農地が耕作放棄地にならないこと。鳥獣被害が増加しないこと。

## 歴史・文化・伝統

観光として椎根の石屋根はなくなってしまうとさびしく思う。

石屋根倉庫の崩壊や撤去

## 風景・自然環境

どこでもそうだと思うが今まで普通に見ているものが無くなってしまうとそれは悲しい事

椎根の景観は、人がいてこそ保たれており人がいなくなることが心配

## 安全・安心

大災害がおこらないでほしい地震津波がきたら飲み込まれてしま

# 10年後こうなってほしい

## 歴史・文化・伝統

石屋根という歴史ある建物を守る事

## 風景・自然環境

村の中のゴミが一掃され、美しい川がよみがえれば

河川の雑木、雑草

今の美しい自然が10年後も失われないうように思います。

少なくとも、現在の景観は維持されている。

## 暮らし・社会

廠原までの距離が短くなり、いつでも買って買い物に行ければ(交通手段)なあ

本土に行く飛行機、船の運賃が今の半額になっていることと油代が本土なみの料金にしてほしい

道が良くなって廠原、雞知までの距離が近くなるシカやインシジクが減る

交通の便が良くなること。事故をおこしたことがあり、道路を広くして、トンネルも増やしてくれたらうれしく思います。

交通の便が良くなればいい

空き地や休耕田が整備され、花いっぱい、老若男女のいこいの広場ができて

## 健康・福祉

ピンポンでも、バドミントンでも、フロアーカーリングでも自由に好きな時にできる施設があれば

高齢者が健康寿命で豊かな老後が送れるよう願います。

高齢者の見回りや、監視体制が確立される。

## その他

※小茂田港の国際港化、アジアに最も近い他の利を活し国や学校関係の研究所や学校の誘致若しくは大企業誘致し、国際貿易港としての機能を果たすように大開発を美施※沖縄の痛みをわかつかつ為殿浜地区に米軍のオーストレイ基地の設置

希望といえればキリがないが、今有ること、物等10年後も有れば良い

子らは結婚し、対馬に残って集落が存続していくころ。だめなんだろうか

現在、他県・他地区からのお嫁さんが多くなってきた。とてもいい事ですが、地区にあまり馴染めない人もいる。婦人会等にも入って泣く婦人会解散した地区も有る。もちろんすばらしい人もいます。女性だけでなく、男性も積極的に地域の団体等に参加し、自ら先頭を切ってほしい。

地区がまとまり協力が体制が維持され、人の絆が深い住みやすい地区であること

もっと若者層が多くなれば良い。

人が増えること、同世代が少ないので若い人が増えてうれしいなあと思う。

もっと若者層が多くなれば良い。

若者や子供、中高年のバランスの取れた住みやすい集落になってほしい

健康で仲良く、子供たちにもぎやかに集落の中を駆けまわっている。住みやすい部落になってもらいたいです

高齢化が進んでいて、無理な事かと思いますが、40年前ぐらいのように、3世代4世代が一緒に住んで、地区全体が活気に満ちた集落になれば、楽しいかな。

健康で仲良く、子供たちにもぎやかに集落の中を駆けまわっている。住みやすい部落になってもらいたいです

高齢化が進んでいて、無理な事かと思いますが、40年前ぐらいのように、3世代4世代が一緒に住んで、地区全体が活気に満ちた集落になれば、楽しいかな。

子供がある程度おり、自治会活動も維持される。

班体制の維持、葬式や建物建築の際の助け合いが維持される。